

平成22年度 学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	項目	自己評価		学校関係者評価
		結果(教職員アンケート達成率)	今後の方策	
生徒一人一人に目を向けた授業を実施する	①学習目標の設定ができた ②学習目標への指導が徹底できた ③家庭学習への取り組みを指導できた ④提出物の期限を守らせる指導ができた ⑤定期試験の事前・事後指導ができた ⑥模試の事後指導ができた ⑦チャイムスタートで授業を始められた ⑧どの生徒にも個別指導(助言・注意)ができた ⑨教材研究がよくできた ⑩教科内での<授業内容や進度>の共有化ができた ⑪授業内容の定着度が高まった	98.7% 学年、学期単位で明確な目標を持って教科指導ができた 82.9% 一人一人を見ながら、効果的に指導できた 85.2% 宿題はもとより、個別の課題を課して家庭学習をすすめた 63.5% 提出率の向上に努める一方、未提出者に対して個別指導した 93.3% 学習予定表を活用し、各生徒の学習を点検しながらすすめた 75.9% 生徒はもとより、教員の教材作りにも利用した 78.9% チャイムで終えられず、延長することがあった 75.0% 問題点の少ない生徒へのアプローチを増やしたい 87.3% 欲を言えばきりがありませんが、できたとと言えます 77.0% どの教員が担当しても、目標を達成できる仕組みを整えた 88.5% 最重点項目ですが、もう一つやりきれなかった生徒もいた	全体を進め、個別にも対応できる指導を追求します この部分への精進を引き続きすすめたい 今後も家庭の協力も得ながらすすめたい 粘り強く指導していきたい 順調。今後も続けたい 活用方法の完成を目指します 時間内で終了できるよう、努力します 一人一人に目と手と時間をかけたい 時間を作り出して、さらなる充実を図りたい 個人の成果を全教員で共有します 限界を設けずに向上し続けていきたい	あらゆる教科において、非常に手厚く指導していただいている。宿題や課題等の提出物は、アフターケアも十分にいただいている。おかげで中学生の頃より家庭学習の習慣がきちんと身につけている生徒が多いと聞いている。また、どの教材も内容が充実しており素晴らしく、先生方の教育に対する熱意が感じられる。
生徒の生活習慣作りに働きかけ続ける。	①生徒への挨拶や声かけができた ②学年会・教科会での<相談・報告・連絡>ができた ③生徒の成長・長所によく気づけた ④生活(進路)意識を高める働きかけができた ⑤欠席・遅刻・早退者への指導ができた ⑥服装・頭髪(校内ルール)などの生活指導ができた	90.6% 今年の重点項目でしたが不満足な成果であった 87.8% 会議の場だけでなく、随時実践した 85.9% 行事やクラブ活動で見せる一面にも注目して観察した 88.2% 進路講演会の内容が、有意義であったと好評だった 69.3% 皆勤者が増加する一方で、生活習慣で苦勞している生徒もいた 78.2% こうした違反をする生徒が減少している	次年度、最重要課題として位置づけています 他部署の動向も行き渡るように工夫します 日々の生活に流されず、生徒に注目します 生徒の実態にあった企画を研究していきます 今後も指導し続けます 今後も指導し続けます	服装、頭髪の乱れが少なく、先生方の指導の結果と感謝している。生活習慣作りには、保護者も学校と協力しながら、生徒のなお一層の成長に寄与したい。
校務分掌において、前年課題の解決を図る	①中学部・下校時刻を遵守させる ②中学部・校内美化を推進する ③中学部・不登校生徒への対応を手厚くする ④高校部・遅刻の基準を厳しくする方向で改める ⑤高校部・各教科の学習バランスを整えたい ⑥生徒会顧問部・例年の行事を充実させる ⑦生徒指導部・地域の一員としてのマナーを身につけさせる ⑧生徒指導部・挨拶をするよう、教員から声かけをする ⑨総務部・教員のコミュニケーション能力を向上させる ⑩教務部・新学習指導要領に対応する ⑪教務部・指導要録の書式改訂に対応する ⑫入試広報部・説明会を充実させる ⑬進学指導部・6カ年を通した指導体制の確立 ⑭体育館建築委員会・具体案を提案する	生徒指導部と連携して指導し、効果を上げている 生徒ホールの清掃は課題を残した 学校カウンセラーとも協力してすすめている 実現した。このことにより「早めの登校」が定着してきた 各学年で突出した教科がないよう配慮して進めることができた 諸条件の変更や天候に振り回されたが、無事に実行できた 通行マナー、買い食い禁止は向上しているが、更なる指導が必要である 生徒指導部が朝、校門にて声かけを実践した その趣旨で講習会を実施して、スキル向上を図った 順調に対応している 法令どおりに改訂した 学校説明会、入試説明会ともに盛況であった データの蓄積と分析により、本校の指導スタイルが確立してきた 具体的な提案には至らなかった	今後も時間については厳しく指導します 来年度に解決を図ります 本校にあった体制を続けます さらに定着を図りたい 今後も続けていきます 中身の濃い生徒会活動を展開します 今後も生徒の自覚を促したい 次年度ははっきりと成果を出したいと考えています こうした講習会を年2回開催することを検討します 年々変化する体制に合致させていきます 確かな記録が残るようにします 次年度は新企画を立てます 進学指導担当の先生以外にも広報します 次年度は図書館とともに活動します	PTA校内巡視での指摘箇所について、間を置かず改善していただき感謝している。「メール連絡網」は、災害や天候不良による学校行事の日程変更などの連絡手段として、極めて有効に機能している。保護者の多くがたいへん役立っていると評価している。一方、校内に食堂がないため、昼食の販売に力を注いでもらいたいとの意見も多い。
部活動において、個々が生きる活動を目指す	①生徒の活動場所に参加し、直接指導する ②生徒の能力、関心に即した指導をする ③部活動の保護者と連絡を取り合いながら活動する	他の指導に時間をとられて、なかなか現場に足を運べない クラブ活動こそ、こうした視点で指導したい ほとんどのクラブが「保護者会」を開催し、試合の見学も活発に行われている	現場に出られない場合の指示をしっかり行います 前年度までの蓄積を生かします 今後も継続したい	個々の感性に応じて大変熱心に指導していただき、人間形成の一助となっている
その他の教育活動でも前進できることから実行する	①PTA活動を充実させる ②同窓会活動を充実させる ③地域との連携を図る	予定の活動を、好評かつ円滑に進めることができた 私学ならではの密なつながりを保ち、活発に活動した 防災体制について、学校と地域で共同して計画を進めている	前年度を踏襲しながら、進化させたい 若手幹事を育成したい 地域とのつながりを深めていきたい	ブログを通じてPTAの活動を広く紹介することができた。今後も充実させていきたい。